

# 東京岡山県人会

発行者：東京岡山県人会  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館10階  
岡山県東京事務所内  
TEL 03-5212-9080  
FAX 03-5212-9083  
E-mail:tokyo\_okayamaken@tdfk.or.jp

## 第五十八回岡山県人の集い

### 賑やかに開催

東京岡山県人会の平成十九年度総会と第五十八回県人の集いが、九月七日（金）、ホテルオークラ東京で約四百人の参加のもと盛大に開催されました。各界で活躍する在京の県出身者のほか、地元岡山からは、石井正弘岡山県知事をはじめとする行政関係者、さらには岡山経済界の代表者の方々にも多数参加していただき、懐かしいふるさとの話や味を楽しみながら交流を深めました。

まず、総会では、平成十八年度事業・決算報告や平成十九年度事業計画の報告が行われ了承されました。

引き続き開催された「県人の集い」では、小長啓一会長（AOCホールディングス（株）取締役相談役）が、「年に一度の貴重な機会、情報交換をしたり懇親を深め、人の輪を広げていただきたい。」と開会挨拶をされ、続いて、江田五月参議院議長、石井正弘岡山県知事の祝辞をいただきました。また、特別ゲストとして野球日本代表チームの星野仙一監督のスピーチがあり、北京五輪に向けて熱い思いを披露していただきました。その後、全日本空輸（株）の大橋洋治取締役会長の音頭で岡山の地酒による乾杯を行い、集いの幕が開かれました。

集いでは、会員みんな、懐かしいふるさとの味に舌鼓を打ちながら親睦と交流を深めるとともに、今年から新たに取入れた、ご購入いただいた県内各地の特産品の中から選りすぐりの商品をプレゼントする「お楽しみ抽選会」などの企画を愉しみました。そして、松尾道彦副会長（財）日本海事センター会長の中心締め挨拶まで、和やかな歓談の輪が広がり、次回の再会を共に約束しました。



## 第十九回

### 全国生涯学習フェスティバル

#### 「まなびピア岡山2007」

#### を開催しました



岡山県では、十一月二日（金）から六日（火）までの五日間、「晴れの国 キラリ☆輝く まなびの輪」をキャッチフレーズに主会場の岡山県総合グラウンドのほか、大会史上初となる県内全二十七市町村を会場に第十九回全国生涯学習フェスティバル まなびピア岡山2007を開催しました。総合開会式では、秋篠宮同妃両殿下のご臨席を賜り、また県内各地で生涯学習に関する体験・参加型のイベントが四〇〇以上開催され、県内外から延べ六十万人以上の方々にご参加いただきました。

この大会を通して、県民全体に学びの輪が大きく広がるとともに、本県の魅力や岡山らしい生涯学習の取り組みを全国へ情報発信することができました。今後は、この大会で得た成果をしっかりと継承し、本県生涯学習の一層の振興につなげ、「生涯学習社会☆おかやま」の実現に取り組みしていきたいと考えています。



## 岡山屋

### アジアンサーキット

#### の展開

岡山県では、昨年に引き続き、七月中旬から銀座や羽田空港で、くだもの王国岡山が誇る旬の果物を販売する期間限定ショップ「岡山屋」を開催しました。

それと平行して、七月二十七日から十日間、バンコク市内の百貨店に「岡山屋バンコク店」を設置し、白桃やビオーネ、マスカットを販売しました。現地の嗜好に合う甘い白桃やビオーネが人気を集め、「アロイ、アロイ（美味しい）」と大評判でした。続いて、十月十七日から九日間、台北市内の百貨店に「岡山屋台湾店」を設置し、ビオーネやマスカットが贈答用に購入されるなど大変好評でした。さらに、十月五日から七日間、香港市内の高級スーパーに「岡山屋香港店」を設置し、初日には石井知事がトップセールスを行い、高品質のビオーネやマスカットを大いにアピールしました。

各地域とも、本県産果物への高い評価をいただき、輸出促進への手応えをつかむことができました。今後も世界に通じる岡山ブランドの確立を目指して積極的に取り組んでまいります。



## 瀬戸大橋が

### 開通二十周年を

#### 迎えます

昭和六十三年四月十日に開通した瀬戸大橋は、平成二十年四月に二十周年を迎えます。

岡山県では、経済界や各種団体などの代表で構成する実行委員会を組織し、与島（香川県）でのオープニングイベントを皮切りに、橋上マラソン・ジョギング、岡山・香川を中心とした観光キャンペーンなどの記念事業を来年四月から十月にかけて実施します。

また、プレイベントとして、来年早々には、瀬戸大橋通行台数一億達成日を当てるクイズなども予定しており、二十周年記念事業の開催機運の盛り上げにつなげていきます。



岡山県マスコット  
「ももっち」



岡山県では、開通二十周年を瀬戸大橋の利用促進を図る上で絶好の機会としてとらえ、多くの人に瀬戸大橋の魅力を見いだすとともに、愛着を深めていただき、中四国の一層の連携強化や、人・物・情報の促進にわたる交流の促進にちなみ、中四国のさらなる一体感の醸成を図ることとしてまいります。





首都圏の中のお・か・や・ま

# 小平市 平櫛田中 彫刻美術館

ひらくしでんちゆう

「人間いたずらに多事 人生いたずらに年をとる いまやらねばいつでる わしがやらねばたれがやる」「六十 七十は鼻たれ小僧 男ざかりは 百から百から わしもこれからこれから」など数々の名言を残した日本近代彫刻の巨匠、平櫛田中の終の棲家を訪ねた。

平櫛田中は、明治五年に岡山県後月郡西江原村（現在の井原市西江原町）片山家に生まれ、俣太郎と名づけられた。まもなく田中家に養子に入り、それから、もう一度平櫛家に養子に行った。二十二歳で木彫作家を志し、大阪の人形師中谷省古のもとで修行したのち上京し、当時の木彫界をリードする彫刻家・高村光雲の門下生となった。その後、臨済宗の高僧・西山禾山や日本美術院の創立者・岡倉天心などの影響を受けて、独自の木彫様式を確立した。昭和三十三年に二十年の歳月をかけて完成した「鏡獅子」（現在国立劇場正面ホールに展示）に田中芸術のその独特の様式は集大成を見ることが出来る。

新宿からJR中央線で「国分寺駅」へ、ここで西武多摩湖線に乗り換え、次の「一橋学園駅」で下車、玉川上水に向かって十分程歩くと、閑静な住宅街の中に立派な門構えの「小平市平櫛田中彫刻美術館」がある。



■ 記念館（旧邸）庭園



■ 記念館（旧邸）外観



■ 美術館正門

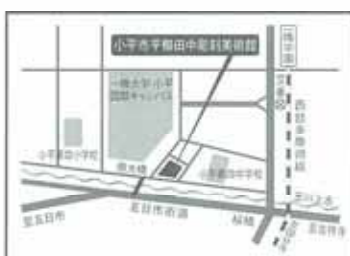
昭和四十五年、田中は五十年近く住んだ台東区上野桜木町からここ小平市の新居に移り、他界するまでの約十年間をここで過ごした。この地は、江戸時代承応年間に築造された玉川上水の清流に沿って、桜、松、クヌギなどが密生し、今もなお、武蔵野の面影が残る緑豊かなところである。住居は、国立能楽堂などを手がけた大江宏氏の設計による方形の大きな屋根を特徴とする和風建築で、田中九十八歳のときに建てられたため「九十八叟院（そういん）」とも呼ばれている。玄関先には、百歳のとき二十年後の制作のために購入した巨大な彫刻用原木が置かれている。玄関を入ると、右に茶室、つば庭、書庫、アトリエがあり、広縁にそって

左に客室、居間、寝室へと続いている。そして、玉川上水をのぞむ美しい庭が広がっており、春は梅、もくれん、桃、ぼたん、夏にはあじさい、はなみずき、姫くちなし、秋にはつわぶき、さざんかなど、四季折々の花が咲き訪れる人の目を和ませてくれる。昭和五十九年、その棲家は「小平市平櫛田中館」として整備され、一般に公開、さらに平成

六年には展示館が併設され、平成十八年に「小平市平櫛田中彫刻美術館」と改称された。地上二階地下一階の展示館には、「鏡獅子」「尋牛」「気楽坊」などの代表作を含む彫刻四十点をはじめ、田中が晩年趣味で取り組んだ書や自身の収集による美術・工芸品が展示されており、美術に関する企画展も随時行われている。百歳を超えてもなお盛んな制作意欲をみせていた田中であつたが、昭和五十四年、小平市のこの地で百七歳の生涯を閉じた。田中の残した優れた数々の作品や人間性あふれる名言は、いつまでもここを訪れる私たちの心に深く刻み込まれていくことであろう。（資料提供 小平市平櫛田中彫刻美術館）



■ 彫刻用クスノキ原木  
(樹齢推定500年、直径1.9メートル)



◆ 小平市平櫛田中彫刻美術館 ◆  
開館時間：午前10時～午後4時  
休館日：火曜日（ただし、祝日の場合はその翌日）  
観覧料：小・中学生 150円 一般 300円  
お問合せ：東京都小平市学園西町1-7-5  
TEL.042-341-0098

<平櫛田中略年譜>

- 1872年 明治5 6月、岡山県の西江原村（現・井原市）の片山家に生まれる。本名、俣太郎。
- 1875年 明治8 田中家の養子となる
- 1882年 明治15 平櫛家の養子となる。
- 1893年 明治26 中谷省古に弟子入りし、木彫の手ほどきを受ける。
- 1898年 明治31 7月、谷中の長安寺に寄宿。西山禾山の臨済録の提唱を聞き、影響を受ける。
- 1901年 明治34 日本美術協会美術展に「唱歌君が代」を出品、銀牌を受賞。
- 1907年 明治40 文部省第1回美術展(文展)に「姉ごころ」を出品（石膏）、入選。
- 1908年 明治41 日本彫刻会第1回展に「活人箭」を出品。岡倉天心の推奨を受ける。
- 1914年 大正3 日本美術院再興記念展覧会に「禾山笑」等を出品、会期半ば 同人に推奨される。
- 1922年 大正11 横山大観、下村観山、木村武山の尽力で 上野桜木町に住宅を建てる。
- 1930年 昭和5 日本美術院の経営者に加わる。第17回院展に「五浦釣人」を出品。
- 1937年 昭和12 帝国芸術院会員となる。
- 1949年 昭和24 東京芸術大学教授となる。
- 1958年 昭和33 井原市名誉市民となる。
- 1962年 昭和37 文化勲章を受章。
- 1969年 昭和44 井原市に田中館（現・井原市立田中美術館）が開館。
- 1970年 昭和45 上野桜木町から小平市学園西町に転居。
- 1972年 昭和47 小平市名誉市民に推戴される。
- 1979年 昭和54 12月30日小平市自宅にて永眠。（107歳）



■ 記念館（旧邸）書庫



■ 数え107歳時の書で座右の銘にしていた言葉



■ 鏡獅子（かがみじし）  
木彫彩色 昭和40年 高58.0cm



■ 尋牛（じんぎゅう）  
木彫 制作年不詳 高47.5cm

■ 新規会員の御紹介  
県人会では、新しい会員を随時募集しています。職場、知人等で入会を希望される方がおられましたら、入会申込書を送付しますので、事務局まで御連絡ください。

■ 住所等変更手続き  
県人会では、会員の皆さまに観光、特産品等の情報を提供したり、会員名簿の配布等を行っています。住所等の変更が生じた場合には、必ず事務局まで御一報ください。

■ 県人会会報に関する御意見等の募集  
今後会報をよりよいものとするため、内容等について、皆さま方からの御意見・御要望をお待ちしています。

■ 連絡先  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館10F 岡山県東京事務所内  
東京岡山県人会事務局  
TEL 03-5212-9080  
FAX 03-5212-9083  
E-mail tokyo\_okayamaken@tdk.or.jp  
http://www.pref.okayama.jp/somu/tokyo

## 事務局からののお知らせ

女性部会員の皆様へ  
「クリスマス会・納会」のお知らせ

今回は、東京湾をクルーズする洋上での会を企画しております。皆様ぜひご参加ください。

日時 平成19年12月11日(火)  
クルーズ時間 19:10~21:30

場所 竹芝客船ターミナル集合  
※詳しくは案内状をご覧ください。